

補候立3人新現

立候補者 (右から届け出順・敬称略)

午前9時現在

郡山市長選告示

コロナ、防災焦点

18日投票開

任期満了に伴う郡山市長選は11日、告示された。いずれも無所属で、元県議の勅使河原正之(69)無職、無新、品川光徳(54)3選を補を届け出た。各候補は市目指す現職の品川萬里氏(76)2期の3人が立候補を届け出た。各候補は市内で第一声を放ち、18日の投票に向けて7日間の選挙戦に入った。

子育で施策が主な争点となった前回とは異なり、県内市町村で最多の感染者が確認されている新型コロナウイルス感染症や災害への対策のほか、少子高齢化が進む市の将来像を市民にどのように示せるかが焦点となる。

勅使河原候補は市職員と市議、県議の経験のアピールし、新型コロナ対策の強化と水害対策を掲げる。川前候補は市街地活性化と防災都市の構築などを公約に掲げ、現職の結集を訴え、市政刷新を狙う。



勅使河原正之 69 無職 無新
【略歴】日大工卒。県議4期、県監査委員、自民党郡山総支部長、県議会消防協力議員会長、市議3期、市職員。郡山市七ツ池町3の13
【政見】コロナ禍、水害に負けないまちづくり。子どもの夢を育み高齢者に優しいまちづくり。豊田浄水場活用。東部地域への移住定住促進



川前光徳 54 会社役員 無新
【略歴】東京経済大経済卒。自営業。市議3期、日本青年会議所副会頭、郡山青年会議所理事長。郡山市堂前町12の6
【政見】農商工経済を立て直し水害が二度と起こらない防災都市の実現。子育て・教育・福祉・文化伝統・スポーツなど身近な生活環境充実



品川萬里 76 市長 無現
【略歴】東大法卒。法大教授、NITTデータ副社長、大阪大客員教授、郵政審議官、放送行政局長、貯金局長。郡山市富久山町久保田字水神山85の4
【政見】誰一人取り残さない郡山。2025、30、40、50の目標年次事業。DX市役所。防災コンパクト都市。流域治水。危機管理予算

品川候補は2期8年の実績を強調し、持続可能な開発目標(SDGs)を軸とした政策を主張する。市長選の届け出状況は午前9時現在、午後5時で締め切られる。